

# し え ん 便 り

28年3月  
発行

和歌山県立みくまの支援学校 支援部

## ～〇〇が苦手な子ども～

話すことが苦手、読むことが苦手、書くことが苦手、計算が苦手、予定変更が苦手・・・

そんな『〇〇が苦手な子どもの姿』、まずはつまずきの背景にある『要因』を推測します。それから、子どもの成長につながる『指導目標』を立て、目標達成のための個々に応じた『指導・支援』を考えていきます。

そこで『読むことが苦手』なA君のための「指導・支援」を紹介したいと思います。(岡本)

### 『読むことが苦手』なA君

#### 子どもの姿(実態)

- ・一文字ずつ拾って読む。
- ・よく読み間違いをする。
- ・文字を飛ばして読んでしまう。
- ・読むことに自信がない。
- ・覚えている言葉はしっかり発音して読める。

#### 要因(考えられること)

- ・聴覚的にも視覚的にも記憶が弱い。
- ・読むべき文字から注意がそれやすい。
- ・読む意欲が低下している。

#### 指導目標

- ・単語カードを用いて単語を読むことができる。

#### 支援

- ・視覚的記憶が弱いので、単語カードを用意する。
- ・1文字1文字を意識して発音できるようにシールを貼る。

#### 指導

- ・授業の中で読む練習を行う。  
(はじめはシールを指で押さえながら読む。)
- ・日常生活の中で場面に合ったことばを読む。  
(単語カードを活用)



## 授業のユニバーサルデザイン



発達障害のある子どもたちが授業に参加する(活動する)ための工夫について紹介します。

### 授業でのバリアを生じさせる 発達障害のある子の特徴

- ・状況理解の悪さ
- ・見通しのなさへの不安
- ・関心のムラ
- ・不注意・多動
- ・二次障害



### 授業でのバリアを除く工夫

- ・時間の構造化
- ・場の構造化
- ・刺激量の調整
- ・ルールの明確化
- ・クラス内の理解促進



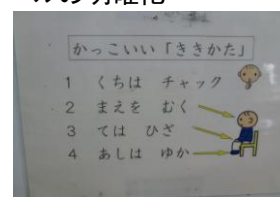
#### 時間の構造化



#### 場の構造化



#### ルールの明確化



(南)

参考資料: 「LD/ADHD&ASD 7月号特集 授業にいかす!ユニバーサルデザインの視点」 一般財団法人特別支援教育士資格認定協会編 明治図書  
「通常学級での特別支援教育のスタンダード」 東京都日野市公立小中学校教師・教育委員会ほか著 東京書籍